



みどりの風

平成30年9月号 在籍児童数475名

学校教育目標

- 自ら考えのびる子
- 思いやりのある子
- 進んで体をきたえる子

応援が力になる

校長 大島 薫

記録的な暑さが続いた夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まります。エアコン工事も無事終了し、快適な環境で学習を進めることができます。5年生は今週学校ファームの稲刈りを予定しています。地域の皆様のご協力のおかげで貴重な体験をさせていただきます。ありがとうございます。

9月は、学校目標のひとつ「進んでからだをきたえる子」の育成に力を入れます。2週間後にせまる9月15日(土)の秋季大運動会に向けて、さっそく練習が本格化します。運動会は、学年種目、ダンス、鼓笛、応援団など、子どもたちが輝く瞬間の連続です。この機会に、低学年は元気に、中学年はのびやかに、高学年はたくましく成長していくことを期待しています。当日は多くの皆様にご来校いただき、子どもたちに熱い応援をお願いできればと存じます。



さて、4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。これは、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行った学力調査と質問紙調査です。質問紙調査の中に「自分にはよいところがある」と思うかどうか、を4段階で回答するという項目があります。「自分にはよいところがある」と思える感情を「自己肯定感」と言います。これは、まわりからほめられること、認められることで醸成される感情です。近年この「自己肯定感」が「心のたくましさ」につながり、学習意欲や学力にも関係するという研究結果が出ています。まわりの方々からのあたたかい励まし、応援が、子どもたちの自信となり、さらに力を伸ばします。まさに「応援が力になる」のです。



篠津小の子どもたちは、家庭・地域の皆様にいつもあたたかく応援していただいております。あらためて御礼申し上げます。子どもたちは、得意なことだけでなく、苦手なことや未知のことにも果敢にチャレンジしております。すぐ結果に結びつかないこともあります。粘り強く挑戦する過程は「心のたくましさ」をはぐくむ時間です。そういうときこそ、皆様の応援が大きな力をなります。

皆様の熱い応援に支えられて、9月も教職員一同、誠心誠意指導にあたってまいります。引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。